

全国公文書館における東日本大震災の被災状況と対応

	公文書館名	被災状況	震災への対応
宮城県	東北大学学術資源研究公開センター史料館公文書室	<p>1. 施設 地震による屋根の損壊（屋根瓦の落下等）により、書庫や展示室等で雨漏りが発生している。施設本体にも各所に亀裂等が発生。一部の書庫では書架が大きく移動。</p> <p>2. 資料 地震により書架から資料が落下し散乱し、一部の公文書は雨漏りにより水損・湿損した（数十点程度）。</p> <p>3. 一般公開 地震が発生した3月11日以後、一時、一般公開を休止。</p>	<p>1. 施設 現時点では屋根や館内書庫への防水シート設置など雨漏りへの応急的な対応のみ。本格的復旧工事は未定</p> <p>2. 資料 水損・湿損資料などは陰干しなどですでに復旧済み。落下により破損した資料については順次確認・簡易修復を進める予定。（現在公開中の資料についてはすでに修復済み）</p> <p>3. 一般公開 館内の被害が少ない部分（1階）を使用して、6月1日に閲覧室を再開。また展示業務については、同じく1階を利用し小規模な形で6月1日に再開。常設展示室は施設の本格的な復旧工事を待って再開予定であり、全面再開の日程は未定。</p>
	宮城県公文書館	<p>簿冊落下（約3万冊）、簿冊破損（5～600点、修復可能）ガラス破損（131枚）、積層書庫内エレベーター故障、書架破損（多数）、防火扉故障（2箇所）、ブラインド破損（多数）、内壁・外壁ひび割れ（多数）、床隆起（数箇所）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 被害の修復 東日本大震災（3月11日）及び余震（4月7日）の影響により休館中。5月16日（月）開館。 閲覧者・職員の避難経路及び避難誘導の再確認。 簿冊落下を最小限にするため、ブックストッパーを活用。
秋田県	秋田県公文書館	<p>3月11日 震度5弱（秋田市） 保存書庫書架から65冊程度落下、最上段から飛び出し加減の簿冊多数。 4月7日 震度5弱（秋田市） 保存書庫書架から55冊程度落下。</p>	<p>当日及び翌日に被害状況を確認し、落下した簿冊等を整理した。</p>
福島県	福島県歴史資料館	<p>3月11日 震度6弱 館の建物に30箇所以上の損傷（壁面剥落、窓ガラスの破損等）、執務室や書庫の書棚転壊、資料の落下・散乱。</p> <p>県内において、原発の放射能汚染に関する警戒区域や計画的非難退避区域等に指定された市区町村については、役所の現用文書や歴史資料館等の資料・文化財が放置されたままである。一時帰宅等により自治体機能に最低限必要な文書の搬出計画はあるが、それ以外の文書についてどのように対処するかが課題である。</p>	<p><u>1. 復旧作業</u> 3月12日から、当面休館した上で、以下の通り復旧作業を開始。</p> <ul style="list-style-type: none"> 隣接施設への執務室移転 割れたガラスの代わりに板を嵌め込み応急処置 亀裂の入ったガラスはガムテープで応急処置 漏電検査の実施 執務室や書庫の転壊した書棚や散乱した資料の整理。落下防止器具の設置。 瓦礫やガラスの破片を撤去 展示資料の収納 発火する危険のある資料の書庫からの搬出 <p>※これ以上の建物の修復については県の予算措置を待つこととした。</p> <p><u>2. 開館、閲覧室再開</u> 3月31日に、館の建物について応急危険度判定を受け、使用可能と判定された。その後復旧作業を急ぎ、4月25日から従来の館事務室での執務が可能となった。 5月9日から開館し、閲覧希望件数が多い地籍図・丈量帳（写）、官報について閲覧申込を受け付けることとした。ただし、閲覧室が復旧しておらず、別室での閲覧としていた。 その他の資料については、整理出来次第、順次閲覧に供することとし、当該情報についてもホームページに掲載。 6月13日には、閲覧室を復旧。目録に公表済みの全資料を閲覧可能とした。 展示室における収蔵資料展については、8月20日のオープンを目指している。その他、講習会等の行事開催も準備中。</p>

	公文書館名	被災状況	震災への対応
福島県	福島県歴史資料館		<p>3. ふくしま歴史資料保存ネットワークの支援活動</p> <p>歴史資料救済を目的として、2010年11月に発足したボランティア組織である当ネットワークについて、震災を受けて、急遽、事務体制を構築し、当館を連絡・問い合わせ窓口として活動を開始。当館は、ボランティアのコーディネートや資料レスキュー要請の連絡調整を行い、当該要請に基づいた県内各市町村での資料救出・救出資料のリスト作成・クリーニング等を支援しているほか、資料の一時保管を担当している。</p>
茨城県	茨城県立歴史館	<p>1 本館</p> <p>(1) 館全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 停電, 断水 ○ 文書・資料等の机上, 書架からの落下, 散乱 <p>(2) 本館書庫及び文書整理保管庫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 配架図書・文書等の落下, 散乱 <p>(3) 閲覧室</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料検索システム不通 <p>(4) 展示室及び収蔵庫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 天井灯の落下(展示室) ○ 収蔵品の落下, 転倒, 破損 ○ 展示ケースの破損 <p>2 園内付属施設</p> <p>(1) 旧水海道小学校本館</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 内壁(漆喰)に崩れ, 亀裂 <p>(2) 旧水戸農業高等学校本館</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 玄関部分崩落 ○ 内壁(漆喰, タイル)に亀裂, 破損 <p>3 園外施設</p> <p>(1) 三の丸庁舎行政資料整理室</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 配架文書・資料等の落下, 散乱 ○ 天井吊下蛍光灯の落下 <p>(2) 三の丸倉庫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保管文書・資料等の落下・散乱 	<p>1 開館に向けての対応</p> <p>(1) 電気, 水道の復旧(3/12午後)</p> <p>(2) 公共交通機関の不通, ガソリン不足等に対応した勤務態勢の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自家用車の乗り合わせによる出勤 ○ 自転車の利用 <p>(3) 本館施設・設備等の修繕</p> <p>(4) 散乱した図書・文書・資料等の再配架</p> <p>(5) 資料検索システムの復旧</p> <p>(6) 破損した収蔵品の修復(継続中)</p> <p>(7) 震災時避難誘導訓練の実施</p> <p>(8) 旧水海道小学校本館, 旧水戸農業高等学校本館の修復(未実施)</p> <p>※ 4月23日(土)より本館展示の一般公開及び閲覧業務を再開</p> <p>2 被災地域への対応</p> <p>(1) 被災した史資料, 文化財等の一時保管(要請に応じて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 古文書(筑西市下館田宮家) ○ 仏像(大洗町願入寺) <p>※ ほかに受入準備中のもの数件</p> <p>(2) 公文書の被災状況について, 市町村への聞き取り</p>
栃木県	栃木県立文書館	収集した行政文書の一部が書架から落下した程度で、施設その他に特段の被害無し。	当館に史料を寄託している各家に、館と史料の無事を伝え、併せてこのたびの震災によって相談等があれば承る旨の通知を送付した。
	小山市文書館	文書館石蔵の瓦が落ちる。壁に亀裂が生じる。大谷石塀の一部が倒壊。	石蔵にて保管していた史料を、全て分室に移動。文書館石蔵は登録有形文化財であり、文化庁の指導を受け、今後、改修・補強工事を行う予定。
	芳賀町総合情報館	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料の書架からの落下(全体の7割程度) ・土器の破損 ・内部壁面亀裂 ・壁面展示ガラスケースの亀裂 ・天井照明等のボルトの緩み ・中央部トップライトの傾斜 ・公文書等アーカイブズ資料の被災は無し 	3月12日～17日まで臨時休館とし、復旧作業を実施した。施設面については、可能な個所から修繕等を進めている。3月18日から4月30日までは、開館時間を変則したが、5月から通常開館とする。

	公文書館名	被災状況	震災への対応
埼玉県	埼玉県立文書館	大型書架破損3。 資料落下、散乱。	資料の復旧及び配架場所の変更。 危険な破損書架の撤去終了。書架を再設置する予定。 計画停電及び節電のための一部事業休止。
	八潮市立資料館	本館建物・収蔵資料等に被害はなかったが、敷地内に建つ古民家で、土壁の一部崩落や屋根瓦の落下等、軽度の被害があった。	—
	戸田市アーカイブズセンター	転倒防止をしていない書棚2基が転倒。	転倒防止措置を講じる。
千葉県	千葉県文書館	書架から一部簿冊が落下したが、建物その他施設等には被害はなかった。	—
東京都	東京都公文書館	書庫内資料等の散乱、書架等の破損、窓ガラスの破損等。	散乱した資料の整理・配架、破損した窓ガラスの交換等。
	板橋区公文書館	地震により書架から蔵書等の落下があった。	財政担当課との協議にもよるが、落下防止のための物品を購入したい。
神奈川県	川崎市公文書館	書庫及び資料室の図書が多少散乱した程度で大きな被害はなし。当日は停電。翌々の歴史講演会は交通機関の関係で中止。	自家発電装置、放送設備の点検整備。
	寒川文書館	収蔵庫内の収納棚が1本折れ曲がった。	解体して撤去済み。